

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミⅡ					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	750115	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員	実務経験教員	アクティブラーニング	○	ICT活用	
担当教員名	早川 純子									ICT活用	
授業概要	<p>この演習では、これまでのゼミで習得した研究手法をもとに、子ども教育専門ゼミIで扱ったテーマについて、より専門的な文献、より具体的な調査と分析によって研究を深めることを目的とする。</p> <p>各自、一つの研究プロセスの中で個々の考察をまとめ、発表報告し、その際のディスカッションを通じて研究内容を吟味していく。卒業研究につながるように、テーマ・問題設定・先行論文調査・学問的意義・章構成・各章の内容などの研究計画を綿密に構成していく。</p> <p>また、積極的・主体的な地域交流を体験し、地域の課題解決や活性化に貢献する意識と態度を養う。</p>										
関連する科目	1年次に「子ども教育入門ゼミ」、2年次に「子ども教育ブレゼミ」、また3年次には「子ども教育ゼミⅠ」を履修しておくこと。										
授業の進め方と方法	<p>各回のテーマに関する課題の評価及び指導を「演習形式」で行う。</p> <p>毎回、課題の提示・発表・提出を行い、参加者全員でのディスカッションを行う。</p> <p>適宜、学科主催の音楽会「うたごえ広場」に参加し、運営を通して地域交流を行う。</p>										
授業計画【第1回】	<p>年間研究フロー発表（執筆スケジュール）</p> <p>：自分の研究計画に対してゼミ内でアドバイスやフィードバックをうけることで、より良い研究計画を作成する</p>										
授業計画【第2回】	<p>先行文献レビュー①</p> <p>：関心のある研究分野について過去の研究や知見を把握する</p>										
授業計画【第3回】	<p>地域交流（「うたごえ広場」運営）①</p> <p>：音楽活動を通じた地域の活性化や観光振興を考える</p>										
授業計画【第4回】	<p>先行文献レビュー②</p> <p>：当該分野の知識や研究の進展状況、未解決の問題点や課題などを理解する</p>										
授業計画【第5回】	<p>地域交流（「うたごえ広場」運営）②</p> <p>：地域の文化や人々のつながりを深める</p>										
授業計画【第6回】	<p>実地調査計画案発表</p> <p>：調査の目的やテーマを明確にし、必要な資料や機材、人員などを手配する；調査手順や調査方法、調査対象となる場所や人物、調査の期間やスケジュールを検討する；調査を実施する前には、安全面や倫理面も考慮し、事前に適切な対策を講じる；調査結果を分析・解釈するための方法やツールも検討しておく</p>										
授業計画【第7回】	<p>地域交流（「うたごえ広場」運営）③</p> <p>：音楽活動を通して地域住民のコミュニケーションや交流を促進する</p>										
授業計画【第8回】	<p>卒業研究中間発表準備</p> <p>：研究の進捗状況の確認、スライド作成、発表練習を行う</p>										
授業計画【第9回】	<p>卒業研究中間発表</p> <p>：卒業研究の進捗状況や結果を発表することで、自分の研究テーマや研究目的を再確認し、研究に対するモチベーションを維持する</p>										
授業計画【第10回】	<p>実地調査あるいは研究実践①</p> <p>：研究対象とする現場で直接観察・体験・収集したデータを基に、問題の把握や課題解決のための情報を収集する</p>										

授業計画【第11回】	地域交流（「うたごえ広場」運営）④ ：歌唱活動を通して地域の人々の生活や健康に寄与する
授業計画【第12回】	実地調査あるいは研究実践② ：調査結果から得られたデータを分析し、問題点や改善策を明確にする
授業計画【第13回】	地域交流（「うたごえ広場」運営）⑤ ：音楽会を通じて地域住民の交流を促し地域を盛り上げることで、地域の活性化につなげる
授業計画【第14回】	卒業研究審査会準備 ：研究成果の確認、スライド作成、発表練習を行う
授業計画【第15回】	卒業研究審査会 ：審査会での発表や議論を通じて研究成果の確認を行い、審査者や学生からの質問や批評を受けることで、自己批判力や批判的思考力を向上させる
授業の到達目標	専門ゼミⅠで習得したような研究の基盤となる力をさらに向上させていくのはもちろんのこと、レポート作成やグループディスカッションを通して、プレゼンテーション能力向上やクリティカルな思考を高め、専門的知識を深めていくことを目指す。
学位授与の方針（DP）との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	発表の際は、レジュメを作成するだけでなく質疑応答にも十分に対応するために、対象論文を入念に読み込み理解して臨む必要がある。準備には十分な時間を確保すること。（2時間程度）
授業時間外学習【復習】	研究の基礎となる専門的な知識を習得したり、研究方法やデータ分析技術などの専門的なスキルも身につけるために、その分野に関する参考文献を調べ研究に必要な知識を習得すること。（2時間程度）
課題に対するフィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	参加態度：60%、発表：40%
テキスト	レビューする先行文献は各自で準備する。
参考書	随時提示する。
備考	